

# 『高校教育研究』の伝統と革新

学校長 大谷 実

本校の研究紀要『高校教育研究』も第66号を数えます。本紀要是、本校の歴史そのものであります。終戦間際、わが国で第三番目に設立された高等師範学校である金沢高等師範の付属を母体とする本校は、その草創期から日本海側で唯一の官立の附属高等学校として、将来の我が国や世界をリードする人を育成することを使命とし、来るべき世界の動向を視野に入れつつ、高校教育の本来的な在り方や、先見的な、そして時には革新的な試みや提言などを毎年発信し続けてまいりました。本紀要是、公立・県立・私立の高等学校とは異なり、研究推進校としての独自の役割を担うべく、実践家であり研究者でもある本校教員が、広い視野と深い見識に基づき、日々継続して取り組んできた研究と実践の努力の結晶であります。本紀要所収の論文は、経験的主観を綴った実践報告でも現実味に乏しい空虚な言説でもなく、直面する現実的な教育課題と明確な理論的視野を兼ね備えた、理論に裏付けられた実践報告、実践を導く理論的提案であります。将来の生徒に必要な資質・能力を視野にいれながら、学習活動を価値ある方向に誘う深い見識（理論）を持つことが教師に求められており、本紀要是そうした教師の資質・能力の向上に寄与するものと期待しています。本紀要所収の各論文が、それぞれの専門分野の進歩にいささかでも貢献でき、さらなる研究を触発する一助となりますならば、これほど喜ばしいことはありません。各論文に対しまして、読者の皆様からの忌憚のないご箴言やご批判を賜りますようお願い申し上げます。

本年の紀要是、これまでの本校の伝統である教材内容の深い洞察にもとづく教科の教材研究に加えて、本校が本年度4月より文部科学省による「スーパーグローバルハイスクール（S G H）研究校」の指定を受けたこととの関わりで、S G Hの特色ある取組みにもとづく研究論文を所収しております。本校のS G H研究テーマは、「北陸からイノベーションで世界を変えるグローバル・リーダーの育成」というものです。これは、地域に対する深い理解に根差してグローバル課題を位置づけ、その課題解決につながるイノベーションを創成できる人間力を育成しようとするものです。そのために、広く深い教養、課題対応能力、英語によるプレゼンテーション力とコミュニケーション力、グローバルマインド、そしてリーダーシップを育てるプログラムを、金沢大学と全面的に連携して開発し、全国に提案することをめざしており、その際、金沢の地政学的な立地を踏まえつつ、東アジア・環日本海の拠点大学・高等学校との交流を積み重ねていくものです。

S G H事業は緒に就いたばかりですが、本校は文科省の研究指定を受け「地球サイズの教育」を謳い、約20年にわたり「総合的な学習の時間」や教科において探究的課題学習を実施しており、「生活と社会」や「海外現地学習」などを通じてグローバル・リーダーに求められる人間力の育成に取り組んでおり、その実践は文部科学省の「中等教育資料」でも先導的なモデルケースとして評価されております。現在展開しているS G Hプログラムは、本校の探究的で総合的な課題学習の伝統を発展させたものであり、本紀要に所収された研究は、伝統と革新の両面を含んでおります。

本校の研究紀要を通して、こうした本校の伝統と特色の一端を感じていただければこの上ない幸いです。